

第7回青谷地域振興会議議事概要

日時：平成28年1月20日（水）午後3時00分～17時15分

会場：青谷町総合支所 第2会議室

【出席委員】

高橋克己、鱸雅子、長谷川和郎、濱江康雄、奥谷吉男、鈴木光頼、瀧洋子、津本和美、北村佳子、松岡礼子、上田洋子

以上11名（敬称略）

【欠席委員】

長谷川英二

以上1名（敬称略）

【事務局】

国森支所長、武田副支所長兼地域振興課長（併教育委員会分室長兼中央公民館長）、秋田市民福祉課長、山本産業建設課長、早川水道局営業所長、長田地域振興課課長補佐、県教育委員会事務局文化財課、地域振興監地域振興課、下水道企画課

【日 程】

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

報告事項

- 1) 青谷上寺地遺跡の整備活用事業について（県教委文化財課）
- 2) 鳥取市過疎地域自立促進計画について（地域振興監地域振興課）
- 3) 鳥取市下水道等事業運営審議会の答申について（下水道企画課）
- 4) 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（案）について

協議事項

- 1) 青谷町版総合戦略（集落實態調査結果）について
- 2) 青谷ようこそまつりの見直しについて

4 その他

5 閉 会

◎議事概要◎

青谷上寺地遺跡の整備活用事業について

【県教委説明】平成28年度に向けて、史跡整備に関しての予算編成を考えているところです。地元の意見をお聞きしたいということがありますので、まずは地域振興会議で説明させていただきます。

平成20年に史跡指定以降公有地化し、基本計画（平成20年）を作成しました。鳥取西道路の工事を進めるため中断していましたが、平成28年度からは本格的に基本設計・実施設計と進めるよう検討しています。公開（完成）は平成38年の予定です。

この中断の影響で関心は低下したと思っています。地元ももう一度盛り上がりたてほしいと考えています。シンポジウムや出前説明、講座等を実施していきます。

出土品重文指定については、平成28年にリスト作成し、平成30年指定に向けて取り組んでいきたいと考えています。

また、まちづくりの核になりますので、地元でも議論をしていただきたいと思っています。

【委員】青谷地域の住民の意識が低下しているが、啓発はどのようにしていくのか。

【県教委】現在も地元の協議会等で活動されていますが、今後も地元説明会を開催するなどしていきますが、地元からの新たな動きもお願いしたいと考えています。

【委員】今後の予定はどうか。

【県教委】パブリックコメントの実施、また、3月27日にはシンポジウムを予定しています。

鳥取市過疎地域自立促進計画について

【委員】（素案30ページ）農道及び用排水路の整備の推進とあるが、狭い道など中山間地域の農業の実態を見てほしい。特に用排水路、復旧工事となると人口が減少する中、工事費の2割負担など難しいという声がある。また、椎茸の生産量は後継者不足で減少している。鳥取茸王がブームになっており、子どもたちを山に連れ、触れ合わせるよい機会であり市も協力してほしい。

【事務局】農林業は中山間地域の大きな問題であるため、対策を進めていきたいと考えています。出来ること（ハード、ソフトとも）の提案をお聞かせください。

【会長】この件はこれから何回も協議する必要があると思っている。いろんな方面で考えていかななくてはならない。

【委員】素案（文面）と事業一覧との関連はどうか。

【事務局】計画本文に照らし合わせ、各担当部署より過疎債を活用する事業として要求されています。今後は議会等の意見を聞きながら必要に応じて計画の見直しを図ります。意見等がありましたら、支所担当課に相談をお願いします。

鳥取市下水道等事業運営審議会の答申について

【委員】料金改定の主な要因として人口減少とあるが、この要因は今後も続いていく。企業努力をしていかないといけない。対策はあるのか。

【事務局】長期的な計画となります。企業努力等を継続的に考えながら、しっかりと組み立てていきたいと考えています。

【委員】受益者負担は原則とのことであるが、公営企業法があるからではなく時代で変化するものである。このことも考えて進めてほしい。

今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（案）について

【事務局説明】平成31年度から37年度に、東部では230人の生徒が減少することがあり、青谷高等学校の統廃合について気にかけていたところですが、基本方針（案）を見ますと、生徒数減少には原則として学級減で対応と示されました。安心したところではありますが、青谷高等学校は小規模校に該当しますので、特色のある取り組みなど、魅力を高めていきたいと考えています。

また、青谷高等学校がなくなるという噂が広がっています。この噂を払拭したいと思っていますので、主に小中のPTA・生徒を対象に年度内に講演会などを企画したいと考えています。

青谷町版総合戦略（集落実態調査結果）について

【委員】これからの青谷に住んでほしい若者、青谷高校生も含めた会議を立ち上げてはどうだろうか。

【委員】少子高齢化はこれからも続くので、高齢者が参画できる社会が大切である。

【事務局】この総合戦略は地域振興会議でも何回か説明しましたし、各地区の会でも説明させていただきました。今後は支所内での組織だけではなく地域の皆さんに参画していただき、体制を整えていきたいと考えています。

青谷ようこそまつりの見直しについて

【事務局説明】30年弱開催してきましたが、マンネリ化等の声や賑わいとしてどう

かという意見もあり、先日のようこそまつり実行委員会でも協議をし、見直しをすることにしました。平成28年度からは、青谷地域にぎわい創出事業（仮称）とし、青谷ようこそ市場“あおいち”（6月～11月、毎月1回日曜日）と、青谷因州和紙産地強化事業の2つの事業を実施するよう考えています。

あおいちは6回実施しますが、1回だけの出店等も可能ですので、積極的に参加していただきたいと思っています。ギャラリーは店舗や空き家等を活用し、1日だけではなく10日間展示するなど、駅前地区の賑わいや周遊を目的としています。

また、因州和紙をメインテーマとし、書道コンクール等を実施してきましたが、手すき和紙の後継者が少ない状況もありますので、視点を変え、産地として打ち出していくための事業を実施したいと考えています。

【第8回青谷地域振興会議の開催予定】

日時：平成28年2月10日（水） 午後3時

会場：青谷町総合支所 第2会議室

議題：

- ・ 公共施設再配置基本計画の策定について
- ・ 青谷町版総合戦略について
- ・ 青谷高等学校を取り巻く状況について
- ・ 委員提案

※開催日時、議題等についての詳細は地域振興課へお問い合わせください。